

# 京都市基本計画の構成

「はばたけ未来へ！ 京プラン2025（京都市基本計画）」案の概要

都市理念（都市の理想像）「世界文化自由都市宣言」

市政の基本方針「京都市基本構想（2001～2025年）」

## はばたけ未来へ！ 京プラン2025（2021～2025年）

### 計画の位置付け

- ・基本構想に基づく第3期の基本計画（計画期間：令和3(2021)～7(2025)年）
- ・さまざまな主体と行政とが共に汗を流して協働する「共汗型・戦略的計画」
- ・時代の潮流を踏まえた「未来志向の計画」

### 計画の背景 計画策定に当たってとくに注目すべき社会経済情勢

人口減少の本格化 地球温暖化の加速  
 グローバル化の進展 産業構造の転換と厳しい京都市財政  
 【分野横断的な時代潮流 文化力 SDGs レジリエンス Society5.0】

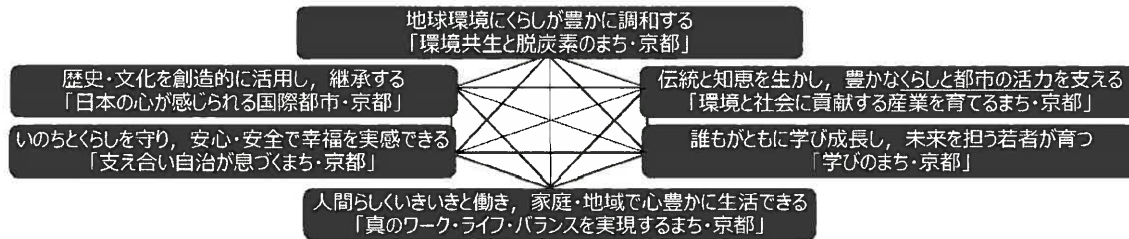
### 都市経営の理念 京都市の都市政策を進めていくうえでの基本となる考え方

～生活者を基点に、参加と協働で未来を切り拓く～

都市経営のあるべき姿は、自治体とその主人公である市民が自治意識を共有し、実践する、参加と協働による市政運営とまちづくりを実現することである。

わたしたち京都市民は、人口の減少や科学技術の進展、SDGs、レジリエンスの重要性の高まりなどの時代潮流を踏まえ、長年にわたり育ててきた市民力・地域力・文化力を生かして、生活者を基点とした未来像を共有し、参加と協働で実現への道筋を見出し、力強い経済と都市の活力の創出に向け、共に汗を流して希望のもてる未来を切り拓く。

### 京都の未来像 めざすべき京都の姿



### 重点戦略 未来像相互の関連性に着目しながら、複数の行政分野を融合し、とくに優先的に取り組むべき事項

- 多様な文化を創造・発信する  
「世界の文化首都・京都戦略」
- 都市環境と価値観の転換を図る  
「脱炭素・自然共生・循環型まちづくり戦略」
- 京都ならではのくらし文化が広がる  
「担い手成長支援戦略」
- 人生100年時代に対応する  
「地域力・福祉力を高めて支え合うまちづくり戦略」
- いのちとくらしを守り、都市の活力を支える  
「強靱なインフラ整備戦略」
- 歩いて楽しい持続可能な都市を構築する  
「土地・空間利用と都市機能配置戦略」
- 京都の文化、知恵を生かした  
「社会・経済価値創造戦略」
- 市民生活の豊かさや文化の継承・創造につなげる  
「観光の京都モデル構築・発信戦略」

### 政策の体系 総合的な政策体系を簡潔に示すとともに、分野別計画の基本となるもの

- |   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| <くらしの安心><br>1 環境<br>2 人権・男女共同参画<br>3 市民生活とコミュニティ<br>4 市民生活の安全<br>5 文化<br>6 スポーツ | <活性化><br>7 産業・商業<br>8 観光<br>9 農林業<br>10 大学<br>11 国際 | <くすくすやが><br>12 子ども・若者支援<br>13 障害者福祉<br>14 地域福祉<br>15 健康長寿<br>16 保健衛生・医療<br>17 学校教育<br>18 生涯学習 | <まちづくり><br>19 危機管理・防災・減災<br>20 歩くまち<br>21 土地・空間利用と都市機能配置<br>22 景観<br>23 建築物<br>24 住宅<br>25 道と公園・緑<br>26 消防・救急<br>27 くらしの水 |
|---|---|---|---|
- 各政策は相互に密接に関連するもので、政策番号は分野間の優先順位を示すものではない

### 行政経営の大綱 基本計画を進めていくための基盤となる行政経営の方針

- 1 参加と協働による持続可能なまちづくりの推進
- 2 市民の豊かさを実現するための挑戦と改革の行財政運営
- 3 一層信頼される市役所づくりに向けた組織の改革と職員の育成

### 計画の推進

- 1 計画に掲げた政策の推進
- 2 計画に掲げた政策の進捗管理
- 3 計画に掲げた政策の点検・今後の総合計画のあり方の検討
- 4 国、府、関係自治体との連携